

B - 3 次の記述は、DSB(A3E)受信機における混変調について述べたものである。□内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

- (1) 混変調は、通過 □ア□ に強力な妨害波(不要波)が発生したとき、回路の非直線性により希望波が不要波の信号波によって変調されてしまうために妨害を受ける現象である。  
 希望波の搬送波の周波数が  $f_r$  [Hz]、妨害波の搬送波の周波数が  $f_p$  [Hz] のとき、周波数成分 □イ□ [Hz] が生じ混信を受けるものである。
- (2) 混変調を減らすには、高周波増幅器や周波数混合器の □ウ□ を良くするとともに、同調回路の Q を □エ□ して不要波を減衰させる。また、不要波が特に強力な場合には、アンテナ回路に適切な □オ□ を挿入して、不要波を減衰させるのも効果的である。

- |       |       |                 |          |             |
|-------|-------|-----------------|----------|-------------|
| 1 小さく | 2 帯域内 | 3 $f_r \pm f_p$ | 4 直線性    | 5 ノイズブランカ   |
| 6 大きく | 7 帯域外 | 8 $f_r \pm f$   | 9 周波数安定性 | 10 ウェーブトラップ |

7 3 4 6 10

